

Win & Win & Win の関係・志縁社会



支える。つなぐ。紡ぐ想い。

ユニバーサル志縁センターは、地域の社会的課題解決を支援するために、NPOから企業まで、あらゆる人・組織と連携して、個を大切に、誰もが暮らしやすく参加できる社会＝ユニバーサルな志縁社会を目指して、優しく豊かな地域社会を構築します。



公益
社団法人

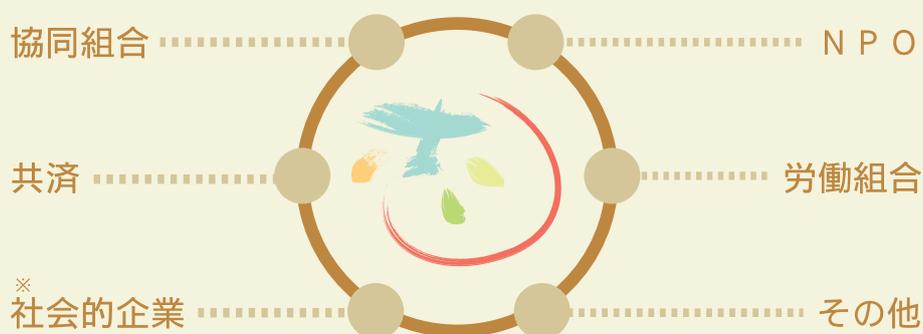
ユニバーサル志縁センター

ユニバーサル志縁センター

Non Profit ではなく、Not for Profit

法人形態に関わらず社会的課題の解決のために、業種を超えて

市民社会形成に向けてゆるやかにつながるネットワーク組織です。



※参考
英国内閣府の定義

社会的目的をもった企業。株主、オーナーのために利益の最大化を追求するのではなく、コミュニティや活動に利益を再投資する。深く根ざした社会的・環境的課題に革新的な方法で取り組む。規模や形態はさまざまであるが、経済的成功と社会・環境課題に対して責任をもつ。革新的な考えをもち、公共サービスや政府の手法の改善を支援する。また政府のサービスが行き届かない場所でも活動する。企業倫理、企業の社会的責任の水準をあげる。

ユニバーサル志縁センターの役割 & 事業内容

いま、この時を生きている者同士が共に居合わせることを楽しむことができる暮らし、誰もが自分のもっている力を発揮しながら、そこに社会を紡ぎだしていく喜び。ひとつの糸口・一歩・一段を大切に持続させ、その歩みをいくつもつなげていく。参加する一人ひとりと丁寧に向き合い、それぞれが担っている活動を大きな花束に紡いでいく活動…。

当センターは、NPO法人、協同組合をはじめとする社会的経済セクターを拡大し、国等への制度提案を行うと共に、地域組織活動を支援し、血縁・地縁を超えて、

『志をつなぎ、命や尊厳を大切にした“志縁社会”』の創造を目指します。

ユニバーサルな地域社会

誰ひとりとして孤立しない・させない地域社会づくり

- 地域づくり事業の起業支援
- 地域循環型企業資金拠出システム（プロジェクトファイナンス）の普及
- 地域づくりコーディネーター（仮称）等人材育成事業
- 志縁をつなぐ文化祭

ユニバーサル就労

身体的、精神的、社会的理由によって働きにくさを抱えている人とも一緒に、誰にとっても働きやすい職場づくり

- ユニバーサル就労システムの確立と普及

ユニバーサル農業

高齢者、障がい者、都市住民など、さまざまな人による農業の再生、環境活動の推進

- ユニバーサル農業の拡大
- ユニバーサル農業フェスタの定期開催
- 社会的経済セクターの環境配慮活動事例集の作成・公開

社会的企業の主流化促進と NPO・企業の協働の推進

地域の現場に根差した政策づくりや具体的参加の促進

- ユニバーサル社会を推進するための制度提案
- NPOと企業・労働組合等との協働事業のコーディネート

東日本大震災復興活動支援

- 被災地・避難先等のNPO活動支援、被災者支援



ユニバーサル志縁センター設立に寄せて

加藤登紀子

「暮らしの姿が外から見えるのがいい」と開高健さんが昔言っていたことがありました。

1980年ごろ、初めて訪ねた中国の事を思い出します。

朝早く街を歩くと、庭先で野菜をトントン刻んでいる音が聞こえ、子どもが路地を走り、老人は太極拳をしている。夕方には、歩道に出したテーブルで麻雀をする男たちがいて、その横で女たちがたらいを出して洗濯をしている。

多分、家の中は暗いし、夏なら暑いし、ということでどンドン外に出てしまうということになったのですが、あれは本当に幸せな風景でした。

道路いっぱい自転車走り、人々が手をつないで歩いていたのがあの頃の中国でしたね。

日本でも私の子どもの頃は、隣の暮らしは垣根越しに見えていたし、垣根の下をくぐって隣の庭に入り込んで行って、遊んでいたりました。

世界中どこでも、国が立派になり街が近代化されると、人々の暮らしは完璧に隠されてしまいます。この世の生き物としての自然さからどンドン離れて行くことを進歩と呼んで来たのです。

花畑で花がひとつひとつ箱に入れられているなんて事があったとしたら、それがいかに異様なことかわかりますよね。

無縁社会という言葉が世の流れとなり、老人も若者もどンドン孤立化した世界に閉じ込められて行きます。

もうここまで来たらはじめからやり直すしかないですね。

今、田舎暮らしにあこがれて、東京を脱出してくる若者たちには、暮らしを自分の手で創りたいという願望がとても強いです。

命する場とちゃんと繋がっていたい。自分で創ったものに囲まれていたい。家族と一緒にいたい…。誰かの役に立っていたい…。

今この時を生きる者同士が共に居合わせることを楽しめる暮らし。

誰もが自分の持っている力を発揮しながら、そこに社会を紡ぎ出していくよろこび。

私たちが突き当たっている問題は大きいけれど、小さな糸口の中に解決の道が見えてくるのだと思います。

人はどんなにしたって一歩ずつしか歩けないのだし、一段ずつしか上がれない。

でも、ひとつの糸口や一歩や一段を持続していければいいのだし、出来ることなら、その歩みをいくつも繋げていけるともったいいい。

それがこのユニバーサル志縁社会の創造ということだと思うのです。

私は、歌手としてたくさんの人たちと出逢ってきましたが、ほんとはたくさんの人とではなく、ひとりひとりの人と出逢って来たのだと思っています。

大きな組織や立派な建物では、ひとりの人の存在感が薄れ、人と人の距離が開いてしまいます。

ですから、このセンターの役割は、大きな組織をつくることではなく、参加するひとりひとりの人と丁寧に向き合うこと、それぞれの人が担っているそれぞれの活動を素敵な花束にしていくことだと思っています。

福祉、医療、教育、暮らし、それぞれ違う分野に分けられている活動が、農の現場や音楽の場でひとつに繋がれる可能性もあるでしょう。

そこに素敵な空間と時間がある様に、ただそれだけを願っています。



会員の種類

- 正会員（個人・団体） 年会費1口1万円（以上）
賛助会員（個人・団体） 年会費1口10万円（以上）

★会員入会申し込みが必要です。

- 会長 加藤登紀子（鴨川自然王国）
- 代表理事 池田 徹（社会福祉法人生活クラブ風の村理事長）
古賀申明（公益財団法人連合総合生活開発研究所理事長）
- 副代表理事 兼問道子（NPO法人日本ケアシステム協会会長・社会福祉法人サマリヤ理事長）
- 専務理事 池本修悟（NPO法人創造支援工房フェイス代表理事）
- 理事 井上 肇（生活クラブやまがた顧問・NPO法人結いのき専務理事）
井上 優（NPO法人宮崎文化本舗副代表）
沖倉紅児（生活協同組合パルシステム生活協同組合連合会 地域支援本部 総合福祉事業推進室 室長）
古村伸宏（日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会理事長）
豊島亮介（NPO法人NPO埼玉ネット事務局長）
南部美智代（日本労働組合総連合会副事務局長）
花井圭子（労働者福祉中央協議会事務局長）
林 大介（東洋大学社会学部助教・子どもの権利条約ネットワーク事務局長）
平野覚治（一般社団法人全国食支援活動協力会専務理事・社会福祉法人ふきのとうの会理事長）
村上彰一（生活クラブ生協東京専務理事）
和田寿昭（日本生活協同組合連合会専務理事）
- 監事 對馬昭次（對馬昭次税理士事務所所長）
山根眞知子（NPO法人セカンドリーグ茨城副理事長・生活協同組合パルシステム東京顧問）

※2017年6月19日現在



公益社団法人ユニバーサル志縁センター

連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋4-24-10 アソルティ新橋ビル5F

TEL: 03(6450)1820 FAX: 03(6450)1821

E-mail: info@u-shien.jp